

[成果情報名]多収でいもち病に強い焼酎麴用米専用新品種「み系 358」

[要約]「み系 358」は、暖地の普通期水稻の“かなり晩”に属するうるち種である。「まいひかり」より多収で、倒伏に強く、いもち病に強い。麴原料として用い醸造した芋焼酎は、「まいひかり」と同等で良好な評価である。宮崎県で普及予定である。

[キーワード]イネ、焼酎麴用米、多収、かなり晩

[担当]宮崎県総合農業試験場作物部

[代表連絡先]電話 0985-73-2126

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

焼酎麴用米は、食品の安全・安心志向の高まり等から国産米への転換が進むなど、需要が高まっているが、多収で醸造適性に優れる専用品種がなく、低い収益性から供給量が極端に不足している。実需者からは安定的に供給され焼酎麴用に使用できる米、生産者からは多収で耐病性・耐倒伏性のある米が強く求められている。

そこで、耐倒伏性が強く多収で、いもち病に強い焼酎麴用米専用品種を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 「み系 358」は、2008年に、多収で耐倒伏性の強い「南海 141 号」を母、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 *Pi39* を持ち、いもち病に極強の「東北 195 号」を父として人工交配を行った組合せに由来する。
2. 出穂期、成熟期は「まいひかり」と同等で、暖地では“かなり晩”に属する（表 1）。
3. 稈長及び穂長は「まいひかり」よりやや長く、穂数は同程度、草型は“中間型”である（表 1、図 1）。
4. 耐倒伏性は「まいひかり」と同程度の“強”である（表 1）。
5. 穂発芽性は「まいひかり」よりやや劣る“中”である。脱粒性は同程度の“難”である（表 1）。
6. いもち病真性抵抗性遺伝子 *Pia* と *Pii*、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 *Pi39* を持ち、葉いもちほ場抵抗性、穂いもちほ場抵抗性ともに“強”である。白葉枯病抵抗性は“やや弱”、縞葉枯病に“罹病性”である（表 1）。
7. 収量は「まいひかり」より明らかに多い。千粒重は重く、大粒かつ長粒で主食用品種との識別は容易である（表 1、図 2）。
8. 品質は「まいひかり」よりやや劣る。玄米タンパク質含有率は同程度で、白米アミロース含有率はやや高く、蒸米のさばけが良い（表 1）。
9. 麴原料として用い醸造した芋焼酎の一般成分、アルコール分は「まいひかり」と差は見られない。また、官能評価も同等で良好である（表 2）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：宮崎県内及び県外の普通期水稻生産者
2. 普及地域・普及面積：宮崎県普通期水稻作付地域、494ha(2016年)、588ha(2017年)
3. その他：白葉枯病抵抗性は“やや弱”なので、常発地での栽培は避ける。

[具体的データ]

表1 「み系358」の特性概要

品種名	み系358	まいひかり	ヒノヒカリ	
早晚生	かなり晩	かなり晩	中	
草型	中間型	中間型	偏穂重型	
出穂期(月・日)	9.07	9.08	8.24	
成熟期(月・日)	10.21	10.21	10.04	
稈長(cm)	82.4	79.4	80.9	
穂長(cm)	20.4	19.1	19.2	
穂数(本/m ²)	396	387	388	
耐倒伏性	強	強	やや弱	
穂発芽性	中	難	難	
脱粒性	難	難	難	
耐病性	遺伝子型	<i>Pia, Pii, Pi39</i>	<i>Pia, Pii</i>	<i>Pia, Pii</i>
	葉いもち	強	中	やや弱
	穂いもち	強	やや強	やや弱
	白葉枯病	やや弱	弱	やや弱
精玄米重(kg/a)	70.0	61.6	60.1	
同上標準比(%)	114	100	98	
玄米千粒重(g)	28.7	22.1	22.7	
検査等級 ¹⁾	6.0	3.8	4.5	
玄米タンパク質含有率(%)	6.9	6.9	6.9	
白米アミロース含有率(%)	25.4	24.0	21.8	

注) 2012~2017年の平均値、但しタンパク質・アミロースは2012~2016年の平均値

1) 1(1等の上) ~ 10(規格外)の10段階評価



図1 草姿
(左:み系358、右:まいひかり)

[具体的データ]



図2 粳及び玄米
(左:み系358、右:まいひかり)

表2 醸造した芋焼酎の特性

品種名	pH	焼酎酸度	もろみアル		コメント
			コール分(%)	官能検査	
み系358	4.5	0.6	14.8	2.6	芋の風味がある、甘味がある
まいひかり	4.5	0.6	14.4	2.2	芋の風味がある、甘味がある

注) 2014年宮崎県食品開発センター醸造

官能評価: 5点法 (1:秀、2:優、3:良、4:可、5:不可)、パネラー5名

(宮崎県総合農業試験場)

[その他]

研究課題名: 多様なニーズに対応する特色ある水稻新品種の育成

予算区分: 県単、指定試験事業

研究期間: 2008~2017年度

研究担当者: 押川純二、森山あゆみ、永吉嘉文、赤木武、加治佐光洋、松浦聡司、三枝大樹、北崎康生、井場良一、黒木智、藪押睦幸、角朋彦、中原孝博、中西葵、川口満
 発表論文等:

1) 押川ら「み系358」品種登録出願第30226号(2015年6月2日)